

【評価対象年度 2020年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市ふるさと農具館		
施設概要	【所在地】町田市野津田町2288番地 【開設年月】1992年4月 【開館日時】火曜日～日曜日／9時30分～16時30分(11月～1月は9時30分～16時) 【施設面積】404.57㎡ 【施設内容】ふれあい館(151.52㎡)、体験実習館(133.9㎡)、パネル館(99.28㎡)、菜種貯蔵庫(19.87㎡) パネル館…市の農業などに関するパネルを展示している ふれあい館…昔から使われてきた農具の展示や生活様式の紹介をしている 体験実習館…月に一度油しぼりの実演を行っている		
設置目的	町田の農業を後世に継承するため、また多くの市民に農業への理解を深めてもらうため。		
設置根拠法令・条例	町田市ふるさと農具館条例		
所管部課	経済観光部農業振興課	問合せ先	042-724-2166
施設ホームページURL	https://www.city.machida.tokyo.jp/kanko/sangyo/nougyo/shimintonou/agri02.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	七国山ふれあいの里組合	法人番号	なし
指定管理者所在地	町田市野津田町2452番地		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)町田市ふるさと農具館の管理運営に関する業務 (2)なたね油製造に関する業務 (3)裏山散策緑地の管理に関する業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
小学校の社会科見学を増やし、菜種のサンプル配布も行う	2020年度	社会科見学による来館者等に菜種のサンプル配布を行った。
七国山地区の景観につき1年を通して関心を持っていただくよう、その花の開花時期が分かるマップの作成し、配布する	2019年度	マップを作成し、来館者へ配布を行った。
農業への関心を深めてもらうよう施設パンフレットの改訂を行う	2019年度	施設パンフレットの改訂を行った。

3. 昨年度の課題

内容	【2020年度評価委員会指摘事項】アンケートについて、施設の設置目的に沿った内容で、設問の意図が正確に伝わるアンケートとなるよう、項目を見直す必要がある。また、施設本来の目的に沿った見学者を増やす取り組みを行う必要がある。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	B 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	来館者数及び団体利用がここ数年減少傾向にある。展示方法や資料等の更新がなく、施設の魅力を向上させる取り組みが少ないことが大きな要因と考えられる。団体利用による小学生の農機具見学こそ、施設設置目的に沿う利用方法なので、地元の農業者で組織されている団体である強みを生かし、身近な体験談や親しみのある案内を通して、利用者増加に努めてほしい。 新型コロナウイルスの影響で施設の休館(2020年3月2日～6月8日)や予定されていた団体利用が無くなるなどしたが、来館者に菜種のサンプルを配布するなど、出来る範囲で利用者増加に向けた取り組みを行っていた。また、年度末にコロナ禍でも施設PR・利用促進ができるような紹介ムービーを市が作成した際には、施設説明や油絞りの実演など、施設の魅力PRに積極的に取り組んだ。 【2020年度評価委員会指摘事項】 次年度からの運用を目指して、アンケート項目の見直しに着手している。今後、さらに設問を精査する必要がある。2020年度のアンケートの回収枚数は84枚で、2019年度よりも45枚増加した。引き続き、魅力ある施設にするために、アンケートを回収し多くの方からの意見聴取に努められたい。
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	1992年11月開館から30年近く経ち、非常灯や事務所の蛇口などの交換など、各設備の老朽化への対応を行っている。 利用者アンケートについては、2ヶ所に設置することで農具を見学しながら回収できるようにし、回答者には菜種を配布して回収率を上げる努力をした。 コロナの影響で学校見学がキャンセルになり、入館者数は減少した。「そば試食会」「そば打ち教室」等の新たな企画はコロナの影響で保留になっているが、自主事業として野菜等の販売や油絞り体験を実施するなど、コロナ禍でも利用者を増やす取り組みは継続して行った。

【評価対象年度 2020年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2020年4月～2021年3月 【回収枚数】84枚 【調査方法】配布および設置方式
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A: 80%以上 B: 50%～80%未満 C: 50%未満	95%	84.5%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	95	95	95	95	95
実績値	94.9	84.5			

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
団体利用数	A: 50組以上 B: 30組～49組以下 C: 29組以下	50組	19組	C	
指定期間内における実績(単位: 組)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	50	50	50	50	50
実績値	59	19			

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
施設利用者数	A: 35,000人以上 B: 25,000人～34,999人以下 C: 24,999人以下	30,000人	13,722人	C	
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
実績値	19,880	13,722			

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	新型コロナの影響による施設の休館(2020年3月2日～6月8日)等によって、団体利用数及び施設利用者数ともに昨年度から減少し、特に、小学校の団体利用が激減した。しかし、菜種の配布や自主事業の実施など、コロナ禍においても出来る範囲で利用者増加に向けた取り組みを行っていた。今後も、特に、社会科見学で訪れる小学校の団体利用の増加に向け、適切な感染症対策をしながら、施設に訪れたいような企画等の検討を行ってほしい。利用者満足度は目標値には達しなかったが、良好な水準である。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2020年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者に対し平等・公平な対応がおこなわれているか	来館される方は、どなたにでも同じ対応が出来る。	来館される方には、どなたにでも平等・公平な対応が行われていることをヒアリングから確認。	適
	一般利用者の施設利用は妨げられていないか	利用の妨げになるような事案が発生していないか常に気配りしている。	団体利用がある場合は、人員を増やし一般利用者の施設利用が妨げられないよう努めていることをヒアリングから確認。	適
施設の運営方針・管理方針	設備機器(消防・防災・空調等)の安全管理・保守点検等	定期点検を実施している。	業者による点検を実施していることを業務報告書から確認。	適
	施設と法人(団体)本部との間で十分な連絡や調整がなされているか	定期的に連絡を取り合っている。	本部役員会で連絡・調整が行われていることを業務報告書から確認。	適
	物品の管理は適切か(協定書等による取り決めの範囲において)	物品を丁寧に取り扱い、管理を行っている。	物品は丁寧に取り扱い、適切に管理している。	適
	清掃業務等が適切に行われているか	施設を清潔に保っている。	毎日の職員の清掃に加え、業者による清掃も行われており、施設を清潔に保っていることを業務報告書から確認。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護のための体制	個人情報保護の体制ができています。	個人情報保護の規定を作成している。	適
	個人情報の管理	施錠した保管庫に保管している。	個人情報に関わるものは施錠できる保管庫で管理していることを現地確認で確認。	適
要望対応	苦情、要望等の情報の職員間の共有と対策	職員間で情報共有し、対策案を出している。	職員間で情報共有し対策案を出す体制がある。	適
	苦情、要望等の市への報告	市職員に苦情、要望を迅速に伝えている。	市職員に迅速に伝える体制がある。	適
危機管理	危険防止や不良箇所の早期発見に努めているか	毎日簡易点検を実施する。	施設内外の見回りを毎日行っていることを業務報告書から確認。	適
	事故発生時の適切な対応	緊急時の連絡体制が職員間で周知徹底されている。	連絡網を作成し、職員間で周知徹底されている。	適
人的安定性	職員間の情報共有	定期的な情報共有がなされている。	打ち合わせや職員間の連絡ノートにより情報共有がされていることを現地確認から確認。	適
	職員の勤務条件は適切か	協定書の通り適切に勤務している。	協定書の通り勤務していることを業務報告書から確認。	適
管理経費の縮減	指定管理に関する経費の適正使用	最終的な予算総額に対し支出全体を収めている。	最終的な予算総額に対し支出全体を収めている。	適
	利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減ができていないか	費用対効果を吟味し経費を支出している。	節電など利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減している。	適
地域貢献	地元住民が利用できる施設になっているか	地元住民が訪れるような自主事業を行っている。	地元でとれた野菜の販売などの地元住民が訪れるような自主事業を行っている。	適
	地域、関係機関、近隣住民と良好な関係を保つ	開館時のトイレの開放と、路上駐車防止に努めている。	路上駐車があった際は、近隣駐車場の案内を行い、路上駐車防止に努めている。	適

【評価対象年度 2020年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2021年3月1日にモニタリングを実施し、会計・経理に関するチェック体制に一部改善項目があったものの、年度内に改善の見込みがあったため「適」とした。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2021年3月1日にモニタリングを実施し、法定三帳簿及び労働条件通知の項目にNGがあったが、適切な改善策が示されたため「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理業務の履行状況に関しては、要求水準を満たしていることを3月1日に実施したヒアリングや業務報告書、現地確認で確認した。 業務実施体制の会計・経理モニタリング及び労働条件モニタリングに関しては、モニタリング時は要求水準を満たしていないことが判明したが、その後、それぞれ必要な対応を行ったため「適」とする。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	6,625	6,606	6,625	6,850	6,625		6,625		6,625	
	利用料金	-	-	-	-	-		-		-	
	自主事業	0	1,096	0	984	0		0		0	
	その他	0	0	0	0	0		0		0	
	計	6,625	7,702	6,625	7,834	6,625	0	6,625	0	6,625	0
支出	人件費	4,601	4,558	4,601	4,885	4,601		4,601		4,601	
	維持管理経費	1,070	1,054	1,070	1,094	1,070		1,070		1,070	
	自主事業	0	2,065	0	1,107	0		0		0	
	その他	954	994	954	870	954		954		954	
	計	6,625	8,671	6,625	7,956	6,625	0	6,625	0	6,625	0
総計(収入-支出)		0	-969	0	-122	0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	116.0	100.7			
負債比率	0.0	0.0			

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理業務については、不必要な支出はなく、日頃から経費削減に努めている。